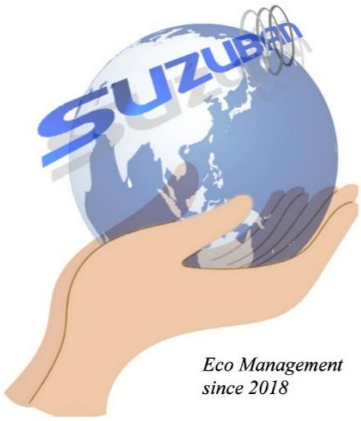
株式会社鈴鈑工業 環境経営レポート

2024年度

（対象期間　　2024年6月１日～2025年5月31日）



目　次

1．組織の概要・対象範囲----------1 項
2．実施体---------- 2 項
3．環境経営方針----------3 項
4．環境経営目標----------4-1,4-2,4-3項
5．環境経営計画----------5-1,5-2,5-3項
6．環境経営目標の実績----------6-1,6-2,6-3項
7．a 環境経営計画に基づき実施した取組内容 ----------7-1,7-2,7-3項
7．b 環境経営計画の取組結果とその評価 ---------- 7-1,7-2,7-3項
8．次年度の環境経営目標と環境経営計画----------8-1,8-2,8-3項
9．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無----- 9 項
10．代表者による全体評価と見直し・指示、結果報告書----------10 項

2025年10月10日発行

取組の対象組織・活動の明確化

１．組織の概要

１）　名称及び代表者名
株式会社　鈴鈑工業
代表取締役社長　鈴木　爾

２）　所在地
本社大和工場　　神奈川県大和市柳橋5-7-6
本社大和工場　倉庫　　神奈川県大和市柳橋5-6-2中村工場4号室
本社大和工場　倉庫　　神奈川県大和市柳橋5-6-1北嶋工場2号室
群馬工場　　群馬県邑楽郡邑楽町石内422-4

３）　環境管理の責任者及び担当者連絡先
責任者 専務取締役　鈴木　淳　　TEL：046-267-1177
担当者 営業技術部課長　室宮　良典　　TEL：046-267-1177
電子メール　y _muromiya@suzuban.com

４）　事業活動内容

金属加工品の製造・販売

５）　事業の規模
事業年度　　6月～5月

	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	億円	4.0	4.8	5.1	5.4	5.8
従業員	人	44	41	44	44	49
延べ床面積	㎡	813.17	892.66	892.66	892.66	892.66

２．対象範囲（認証・登録範囲）

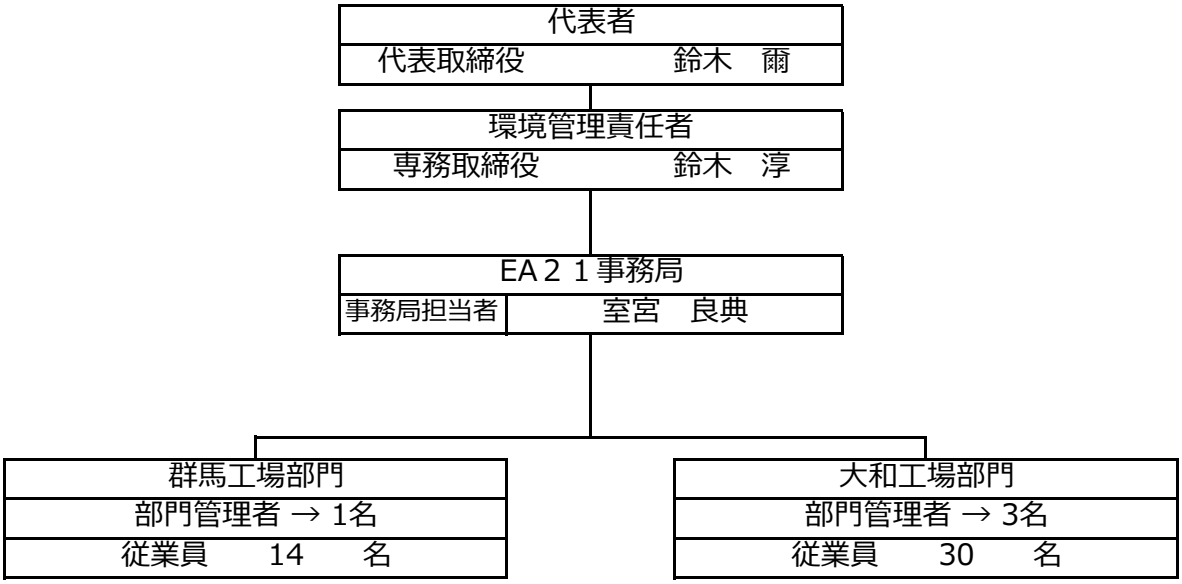
１）　対象組織　　「１．２）所在地」欄に記載

２）　活動　　「１．４）事業活動内容」欄に記載

３）　レポートの対象期間及び発行日 表紙に記載

2.　実施体制

環境経営システム実施体制図



役割、責任及び権限表

対象者	役割、責任・権限
代表者	・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 ・環境経営に関する方針（環境経営方針）を定め、誓約する。 ・効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定め、全従業員に周知する。 ・環境経営に必要な資源（人・もの・資金・情報）を用意する。 ・環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う。
環境管理責任者	・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知 ・全社組織へのEA21活動実施の統括 ・EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告 ・内外環境コミュニケーションへの対応 ・問題点の是正処置の統括
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐及び部門管理者の補佐 ・EA21活動に関する事務
部門管理者	・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知 ・部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ ・問題点の是正処置、予防処置の実施
従業員	・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施 ・EA21活動に関する提案

３．環境経営方針

環 境 経 営 方 針

［　企 業 理 念　］

株式会社鈴鈑工業は、「会社は人で成る」をスローガンに掲げ、『法令遵守の責務』『顧客満足の追求』『生産性・品質・原価・納期・安全・士気・環境の優位性』『社員力量の向上』『技術力の独創性』『社会的責任遂行』を企業理念とし、この企業理念を基礎に環境経営を実行します。

［　環境経営の指針　］

当社は、企業理念を踏まえ、製造業として環境負荷の少ない事業活動、環境に配慮した製品提供、計画（P）・実行（D）・評価（C）・改善（A)サイクルを基本とした継続的な環境改善に取組み、自らが設定した数値目標を達成します。

［　環境経営への取組の基本的方向　］

1.　二酸化炭素排出量の削減 (重点課題)

① 生産設備、付帯設備機器の省エネ化により電気使用量に数値目標を定め削減に努めます。

② ガソリン・軽油の使用量に数値目標を定め削減に努めます。

③ その他,化石燃料使用量削減に努めます。

2.　廃棄物排出量の削減

① 事業所から発生する一般廃棄物及び産業廃棄物の削減に努めます。

② 資源の有効利用とリサイクルを推進します。

3.　水使用量の削減

① 事業所内の水使用量の削減に努めます。

4.　自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

①製品の品質向上・効率向上に努めます。

5.　化学物質の適正管理に努めます。

6.　環境関連法令の遵守に努めます。

この環境経営方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

制定：2019年1月31日

株式会社　鈴鈑工業

代表取締役　　鈴木　爾

4-1.　環境経営目標

2024年度　　環境経営目標設定表(本社大和工場)

Ｎｏ	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値 2023年度（一般廃棄物・産業廃棄物を除く）	CO2換算係数	年度目標 2024年度	2025年度	2026年度
原単位指標		売上高（万円）	35221		32400	32400	32400
1	二酸化炭素排出量の削減	1）電力使用量の削減	電力原単位		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			3.1440	0.474	3.1126	3.0811	3.0497
			kg-CO2/万円	(東電)	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円
		2）化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			0.2080	2.32	0.2059	0.2038	0.2018
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円
			軽油原単位		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			0.6888	2.58	0.6819	0.6750	0.6681
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円
			LPG原単位		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			0.00610	3.00	0.00604	0.00598	0.00592
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円
			灯油原単位		使用しない	使用しない	使用しない
			0	2.49			
			kg-CO2/万円				
		合計CO_2原単位（ｋｇ-CO_2/万円）			基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	kg-CO2/万円 3 %削減
			4.0469		4.0064	3.9660	3.9255
			kg-CO2／万円		kg-CO_2／万円以下	kg-CO_2／万円以下	kg-CO_2／万円以下
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量(2018～2023年度平均)		2018～2023年度平均に対し 1 %削減	2018～2023年度平均に対し 2 %削減	2018～2023年度平均に対し 3 %削減
			388.6		384.7	380.8	376.9
			kg／年		kg／年以下	kg／年以下	kg／年以下
		産業廃棄物排出量の削減（有価物は除く）	廃棄物排出量(2018～2023年度平均)		2018～2023年度平均に対し 1 %削除	2018～2023年度平均に対し 2 %削除	2018～2023年度平均に対し 3 %削除
			2,931.0		2,902	2,872	2,843
			kg／年		kg／年以上	kg／年以上	kg／年以上
3	水使用量の削減		水道使用量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			245		242.6	240.1	237.7
			㎥／年		㎥／年以下	㎥／年以下	㎥／年以下
4	化学物質の適正管理		化学物質保管量		化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	化学物質の適正管理
			14.2				
			kg／年				
5	Ｍ社の不良率の削減		不良率		基準値に対し 1 %改善	基準値に対し 2 %改善	基準値に対し 3 %改善
			0.390		0.386	0.382	0.378
			%／年		%以下	%以下	%以下

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

※年度表記は6月～5月の会計年度と同一期間を適用した。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018・2019・2020・2021・2022・2023年度の平均を基準値にする。

※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。

4-2.　環境経営目標

2024年度　　環境経営目標設定表(群馬工場)

Ｎｏ	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値 2023年度（一般廃棄物・産業廃棄物を除く）	CO2換算係数	年　度　目　標 2024年度	2025年度	2026年度
原単位指標		売上高（万円）	18964		18000	18000	18000
1	二酸化炭素排出量の削減	1）電力使用量の削減	電力原単位		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			3.2690	0.474	3.2363	3.2036	3.1709
			kg-CO2/万円	(東電)	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円
		2）化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			0.3380	2.32	0.3346	0.3312	0.3279
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円
			軽油原単位		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			0.1490	2.58	0.1475	0.1460	0.1445
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円
			LPG原単位		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			0.00630	3.00	0.00624	0.00617	0.00611
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円
			灯油原単位		使用しない	使用しない	使用しない
			0	2.49			
			kg-CO2/万円				
		合計CO_2原単位（ｋｇ-CO_2/万円）			基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	kg-CO2/万円 3 %削減
			3.7623		3.7247	3.6871	3.6494
			kg-CO2／万円		kg-CO_2／万円以下	kg-CO_2／万円以下	kg-CO_2／万円以下
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量(2018～2023年度平均)		2018～2023年度平均に対し 1 %削減	2018～2023年度平均に対し 2 %削減	2018～2023年度平均に対し 3 %削減
			1,236.5		1,224	1,212	1,199
			kg／年		kg／年以下	kg／年以下	kg／年以下
		産業廃棄物排出量の削減（有価物は除く）	廃棄物排出量(2018～2023年度平均)		2018～2023年度平均に対し 1 %削除	2018～2023年度平均に対し 2 %削除	2018～2023年度平均に対し 3 %削除
			16,190.0		16,028.1	15,866.2	15,704.3
			kg／年		kg／年以上	kg／年以上	kg／年以上
3	水使用量の削減		水道使用量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			105		104.0	102.9	101.9
			㎥／年		㎥／年以下	㎥／年以下	㎥／年以下
4	化学物質の適正管理		化学物質保管量		化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	化学物質の適正管理
			0				
			kg／年				
5	Ｍ社の不良率の削減		不良率		基準値に対し 1 %改善	基準値に対し 2 %改善	基準値に対し 3 %改善
			0.390		0.386	0.382	0.378
			%／年		%以下	%以下	%以下

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

※年度表記は6月～5月の会計年度と同一期間を適用した。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018・2019・2020・2021・2022・2023年度の平均を基準値にする。

※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。

4-3.　環境経営目標

2024年度　　環境経営目標設定表(全社)

Ｎｏ	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値	CO2換算係数	年度目標		
			2023年度（一般廃棄物・産業廃棄物を除く）		2024年度	2025年度	2026年度
原単位指標		売上高（万円）	54185		50400	50400	50400
1	二酸化炭素排出量の削減	1）電力使用量の削減	電力原単位		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			3.1880	0.474	3.1561	3.1242	3.0924
			kg-CO2/万円	(東電)	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円
		2）化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			0.2530	2.32	0.2505	0.2479	0.2454
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円
			軽油原単位		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			0.5000	2.58	0.4950	0.4900	0.4850
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円
			LPG原単位		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			0.0063	3.00	0.00624	0.00617	0.00611
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円
			灯油原単位		使用しない	使用しない	使用しない
			0	2.49			
			kg-CO_2／万円				
		合計CO_2原単位（ｋｇ-CO_2/万円）			基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	kg-CO2/万円 3 %削減
			3.947		3.908	3.868	3.829
			kg-CO2／万円		kg-CO_2／万円以下	kg-CO_2／万円以下	kg-CO_2／万円以下
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量(2018～2023年度平均)		2018～2023年度平均に対し 1 %削減	2018～2023年度平均に対し 2 %削減	2018～2023年度平均に対し 3 %削減
			1,624.0		1,608	1,592	1,575
			kg／年		kg／年以下	kg／年以下	kg／年以下
		産業廃棄物排出量の削減（有価物は除く）	廃棄物排出量(2018～2023年度平均)		2018～2023年度平均に対し 1 %削除	2018～2023年度平均に対し 2 %削除	2018～2023年度平均に対し 3 %削除
			19,194.0		19,002	18,810	18,618
			kg／年		kg／年以上	kg／年以上	kg／年以上
3	水使用量の削減		水道使用量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			353		349.5	345.9	342.4
			㎥／年		㎥／年以下	㎥／年以下	㎥／年以下
4	化学物質の適正管理		化学物質保管量		化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	化学物質の適正管理
			14.2				
			kg／年				
5	M社の不良率の削減		不良率		基準値に対し 1 %改善	基準値に対し 2 %改善	基準値に対し 3 %改善
			0.390		0.386	0.382	0.378
			%／年		%以下	%以下	%以下

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

※年度表記は6月～5月の会計年度と同一期間を適用した。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018・2019・2020・2021・2022・2023年度の平均を基準値にする。

※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。

5-1.　環境経営計画

2025年度　　環境経営計画（本社大和工場）

Ｎｏ	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール 2025年6月～2026年5月
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①時間外申請シートの活用（効率的な作業） ②不要照明の消灯 ③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告（現状の把握）	技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
		化石燃料使用量の削減	ガソリン：①エコドライブの実践（車内に掲示） ②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告（現状の把握）	技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
			軽油：①スケジュール運行（2ヶ月間のスケジュール表を作成） ②エコドライブの実践（車内に掲示） ③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告（現状の把握）	技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
			LPG：①湯沸かし器の点検（1F） ②夏場の湯沸かし器の使用を控える	技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
			灯油：①灯油は購入しません(使用しません)	技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
		CO_2総量計（kg-CO_2）	（2024年度目標値）	技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
		CO_2原単位（ｋｇ-CO_2/万円）	4.007　（2024年度目標値）		
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底 ②廃棄物の分別管理の徹底（再資源化しやすくする。）	技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
		産業廃棄物排出量の削減（有価物は除く）	①パイプ・アングル材の寸法カット注文 ②廃棄物の分別管理の徹底 ③板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文	製造管理部 小山	（左記達成手段全て）→
3	水使用量の削減		①水漏れ箇所の点検(1週間1回)	技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
4	化学物質の適正管理		①適正維持の徹底 （消防法に則った保管管理） ②新規の購入はしない ③期末に保管量・使用量を把握する	製造管理部 小山	（左記達成手段全て）→
5	M社の不良率の削減		①丁寧なつぶし込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	総合管理部 蓬生	（左記達成手段全て）→

5-2.　環境経営計画

2025年度　　環境経営計画（群馬工場）

Ｎｏ	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール 2025年6月～2026年5月
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①設備メンテナンス(2Dレーザー・ベンダー) ②フィルターの清掃（1/月） ③不要照明の消灯 ④エアー漏れをなくす ⑤窒素加工用ブ-スタ-の待機時間を削減する	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
		化石燃料使用量の削減	ガソリン ①エコドライブの実践（車内に掲示） ②移動を集約し消費量を削減に努める ③フォークリフト・トラック→メンテナンス	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
			軽油 ①エコドライブの実践（車内に掲示） ②移動を集約し消費量を削減に努める ③フォークリフト・トラック→メンテナンス	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
			ＬＰＧ ①夏場の湯沸かし器の使用を控える ②温度設定を低くする	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
			灯油 ①灯油ストーブは使用しない。(エアコンの使用)	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
		CO_2総量計（kg-CO_2）	（2024年度目標値）	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
		CO_2原単位（ｋｇ-CO_2/万円）	3.725　（2024年度目標値）		
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①コピー用紙の裏面の積極的な利用 ②資源ごみの分別の徹底（再資源化しやすくする）	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
		産業廃棄物排出量の削減（有価物は除く）	①廃棄物の分別管理の徹底 ②端材材料分別の徹底	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
3	水使用量の削減			群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
4	化学物質の適正管理		①ケミーライトは購入しない	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
5	M社の不良率の削減		①丁寧なつぶし込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	総合管理部 蓬生 （本社大和工場）	（左記達成手段全て）→

5-3.　環境経営計画

2025年度　　環境経営計画（全工場）

Ｎｏ	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール 2025年6月～2026年5月
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①時間外申請シートの活用（効率的な作業） ②2Dレーザー加工機・ベンダー→メンテナンス ③不要照明の消灯 ④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告（現状の把握） ⑤エアー漏れをなくす ⑥フィルターの清掃（1/月） ⑦窒素加工用ブ-スタ-の待機時間を削減する	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
		化石燃料使用量の削減	ガソリン ①エコドライブの実践（車内に掲示） ②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告（現状の把握） ③フォークリフト・トラック→メンテナンス ④移動を集約し消費量削減に努める	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
			軽油 ①スケジュール運行（2ヶ月間のスケジュール表を作成） ②エコドライブの実践（車内に掲示） ③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告（現状の把握） ④フォークリフト・トラック→メンテナンス ⑤移動を集約し消費量を削減に努める	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
			ＬＰＧ ①湯沸かし器の点検（1F） ②夏場の湯沸かし器の使用を控える ③温度設定を低くする	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
			灯油 ①灯油は購入しません(使用しません)　本社大和工場 ②灯油ストーブは使用しない(エアコン使用) 群馬工場	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
		CO_2総量計（kg-CO_2）	（2024年度目標値）	本社大和工場技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
		CO_2原単位（ｋｇ-CO_2/万円）	3.9081　（2024年度目標値）		
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底 ②廃棄物の分別管理の徹底（再資源化しやすくする。） ③コピー用紙の裏面の積極的な利用 ④資源ごみの分別の徹底	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
		産業廃棄物排出量の削減（有価物は除く）	①パイプ・アングル材の寸法カット注文 ②廃棄物の分別管理の徹底 ③端材材料分別の徹底 ④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文	本社大和工場製造管理部 小山 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
3	水使用量の削減		①節水の意識を高める ②水漏れ箇所の点検	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
4	化学物質の適正管理		①適正維持の徹底 （消防法に則った保管管理） ②新規の購入はしない ③期末に保管量・使用量を把握する ④ケミーライトは購入しない	本社大和工場製造管理部 小山 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
5	M社の不良率の削減		①丁寧なつぶし込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	本社大和工場総合管理部 蓮生	（左記達成手段全て）→

6-1.　環境経営目標の実績

2024年度　　経営環境目標の実績（本社大和工場）

Ｎｏ	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値 2023年度（一般廃棄物・産業廃棄物・不良率を除く）	CO2換算係数	運用期間（2024年6月～2025年5月） 目　標	実　績	評　価
原単位指標		売上高	35221		32400	35093	○
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位 3.1440 kg-CO2／万円	0.474 （東電）	基準値に対し　1　%削減 3.1126 kg-CO_2／万円以下	実績 2.9687 kg-CO2／年	○ 4.62%削減
		化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位 0.2080 kg-CO2／万円	2.320	基準値に対し　1　%削減 0.2059 kg-CO_2／万円以下	実績 0.2267 kg-CO2／年	× 10.10%増加
			軽油原単位 0.6888 kg-CO2／万円	2.58	基準値に対し　1　%削減 0.6819 kg-CO_2／万円以下	実績 0.7035 kg-CO2／年	△ 3.16%増加
			LPG原単位 0.00607 kg-CO2／万円	3.00	基準値に対し　1　%削減 0.0060 kg-CO_2／万円以下	実績 0.00670 kg-CO2／年	× 11.48%増加
			灯油原単位 0 kg-CO2／万円	2.49	使用しない	実績 0 kg-CO_2／年	○
		CO_2原単位（ｋｇ-CO_2/万円）	4.0469 kg-CO2／万円		基準値に対し　1　%削減 4.0064 kg-CO_2／万円以下	実績 3.9057 kg-CO_2／万円	○ 2.51%削減
		CO_2総量計（kg-CO_2）	137061.77 kg-CO_3／年				
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 388.6 kg／年		2018～2023年度平均に対し　1　%削減 384.7 kg／年	実績 71.64 kg／年	○ 81.37%削減
		産業廃棄物排出量の削減（有価物は除く）	廃棄物排出量 2,931 kg／年		2018～2023年度平均に対し　1　%削減 2,902 kg／年	実績 3,620 kg／年	× 19.83%増加
3	水使用量の削減		水道使用量 245 ㎥／年		基準値に対し　1　%削減 242.6 ㎥／年	実績 265.0 ㎥／年	× 9.23%増加
4	化学物質の適正管理（リサイクル洗浄シンナー）		化学物質保管量 14.2 %		保管量 14.2 %／3ヶ月以上	期末保管量 14.2 kg／年	○
5	M社の不良率の削減		年間不良率 0.390 %／年		基準値に対し　1　%改善 0.386 %／年	実績 0.198 %／年	○ 48.70%削減

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

※環境経営目標項目は、実績が目標値以下で達成「○」、+5%未満でほぼ達成「△」、+5%以上で未達成「×」と評価する。

※年度表記は6月～5月の会計年度と同一期間を適用した。

※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018～2023年度の平均を基準値にする。

※化学物質の適正管理の基準値は年度初めの化学物質の保管量（残量）とする。

6-2.　環境経営目標の実績

2024年度　　経営環境目標の実績（群馬工場）

Ｎｏ	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値 2023年度（一般廃棄物・産業廃棄物・不良率を除く）	CO2換算係数	運用期間（2024年6月～2025年5月） 目　標	実　績	評　価
原単位指標		売上高	18,964		18000	22925	○
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位 3.2690 kg-CO2／万円	0.474 （東電）	基準値に対し　1　%削減 3.2363 kg-CO_2／万円以下	実績 3.0177 kg-CO2／年	○ 6.75%削減
		化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位 0.3380 kg-CO2／万円	2.320	基準値に対し　1　%削減 0.3346 kg-CO_2／万円以下	実績 0.2905 kg-CO2／年	○ 13.17%削減
			軽油原単位 0.1490 kg-CO2／万円	2.58	基準値に対し　1　%削減 0.1475 kg-CO_2／万円以下	実績 0.1491 kg-CO2／年	△ 1.08%増加
			LPG原単位 0.0063 kg-CO2／万円	3.00	基準値に対し　1　%削減 0.0062 kg-CO_2／万円以下	実績 0.0058 kg-CO2／年	○ 6.45%削減
			灯油原単位 0 kg-CO2／万円	2.49	使用しない	実績 0 kg-CO_2／年	○
		CO_2原単位（ｋｇ-CO_2/万円）	3.7623 kg-CO2／万円		基準値に対し　1　%削減 3.7247 kg-CO_2／万円以下	実績 3.4632 kg-CO_2／万円	○ 7.02%削減
		CO_2総量計（kg-CO_2）	79393.25 kg-CO_3／年				
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 1,237 kg／年		2018～2023年度平均に対し　1　%削減 1,224 kg／年	実績 1,310.0 kg／年	× 7.01%増加
		産業廃棄物排出量の削減（有価物は除く）	廃棄物排出量 16,190.0 kg／年		2018～2023年度平均に対し　1　%削減 16,028.1 kg／年	実績 960.0 kg／年	○ 94.01%削減
3	水使用量の削減		水道使用量 105 ㎥／年		基準値に対し　1　%削減 103.95 ㎥／年	実績 111.00 ㎥／年	× 6.78%増加
4	化学物質の適正管理（ケミーライト）		化学物質保管量 0 %		保管量 0 %／3ヶ月以上	期末保管量 0 kg／年	○
5	M社の不良率の削減		年間不良率 0.390 %／年		基準値に対し　1　%改善 0.386 %／年	実績 0.198 %／年	○ 48.70%削減

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

※環境経営目標項目は、実績が目標値以下で達成「○」、+5%未満でほぼ達成「△」、+5%以上で未達成「×」と評価する。

※年度表記は6月～5月の会計年度と同一期間を適用した。

※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018～2023年度の平均を基準値にする。

※化学物質の適正管理の基準値は年度初めの化学物質の保管量（残量）とする。

6-3.　環境経営目標の実績

2024年度　　経営環境目標の実績（全工場）

Ｎｏ	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値 2023年度（一般廃棄物・産業廃棄物・不良率を除く）	CO2換算係数	運用期間（2024年6月～2025年5月） 目　標	実　績	評　価
原単位指標		売上高	54185		50400	58018	○
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位 3.1880 kg-CO2／万円	0.474 （東電）	基準値に対し　1　%削減 3.1561 kg-CO2／万円以下	実績 2.9881 kg-CO2／年	○ 5.32%削減
		化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位 0.2530 kg-CO2／万円	2.320	基準値に対し　1　%削減 0.2505 kg-CO2／万円以下	実績 0.2519 kg-CO2／年	△ 0.55%増加
			軽油原単位 0.5000 kg-CO2／万円	2.58	基準値に対し　1　%削減 0.4950 kg-CO2／万円以下	実績 0.4845 kg-CO2／年	○ 2.12%削減
			LPG原単位 0.0062 kg-CO2／万円	3.00	基準値に対し　1　%削減 0.00614 kg-CO2／万円以下	実績 0.00636 kg-CO2／年	△ 3.58%増加
			灯油原単位 0 kg-CO2／万円	2.49	使用しない	実績 0 kg-CO_2／年	○
		CO2原単位（ｋｇ-CO_2/万円）	3.947 kg-CO2／万円		基準値に対し　1　%削減 3.908 kg-CO_2／万円以下	実績 3.7308 kg-CO_2／万円	○ 4.53%削減
		CO2総量計（kg-CO2）	216455.38 kg-CO3／年				
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 1,624 kg／年		2018～2022年度平均に対し　1　%削減 1,608 kg／年	実績 1,381 kg／年	○ 14.11%削減
		産業廃棄物排出量の削減（有価物は除く）	廃棄物排出量 19,194.0 kg／年		2018～2022年度平均に対し　1　%削減 19,002.1 kg／年	実績 4,580 kg／年	○ 75.89%削減
3	水使用量の削減		水道使用量 353 ㎥／年		基準値に対し　1　%削減 349.5 ㎥／年	実績 376.0 ㎥／年	× 7.58%増加
4	化学物質の適正管理（リサイクル洗浄シンナー）		化学物質保管量 14.2 kg／年		保管量 14.2 kg／年	期末保管量 14.2 kg／年	○
5	M社の不良率の削減		年間不良率 0.390 %／年		基準値に対し　1　%改善 0.386 %／年	実績 0.198 %／年	○ 48.70%削減

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

※環境経営目標項目は、実績が目標値以下で達成「○」、+5%未満でほぼ達成「△」、+5%以上で未達成「×」と評価する。

※年度表記は6月～5月の会計年度と同一期間を適用した。

※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018～2023年度の平均を基準値にする。

※化学物質の適正管理の基準値は年度初めの化学物質の保管量（残量）とする。

7-1.a　環境経営計画に基づき実施した取組内容
7-1.b　環境経営計画の取組結果とその評価　　（本社大和工場）

Ｎｏ	環境経営方針項目	環境経営目標項目		目標達成手段	責任部門責任者	実施した取組内容	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減		①時間外申請シートの活用（効率的な作業） ②2Dレーザー加工機→メンテナンス ③不要照明の消灯 ④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告（現状の把握） ⑤空気圧縮機の吐出圧を現状から下げて運用 ⑥2Dレーザー加工機の電源は使用時のみ立ち上げる ⑦2Dレーザー加工機の撤去	技術管理部 室宮	①～⑦でまでの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
		化石燃料使用量の削減	ガソリン	①エコドライブの実践（車内に掲示） ②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告（現状の把握）	技術管理部 室宮	①と②の項目について実行しました	目標達成手段を実施しましたが目標は達成に至らず ×
			軽油	①スケジュール運行（2ヶ月間のスケジュール表を作成） ②エコドライブの実践（車内に掲示） ③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告（現状の把握）	技術管理部 室宮	①～③でまでの項目について実行しました	目標達成手段を実施しほぼ目標を達成 △
			ＬＰＧ	①湯沸かし器の点検（1F） ②夏場の湯沸かし器の使用を控える	技術管理部 室宮	①②の項目について実行しました	目標達成手段を実施しましたが目標は達成に至らず ×
			灯油	①灯油は購入しません(使用しません)	技術管理部 室宮	①の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
		CO2総量計〔灯油含む〕（kg-CO2）		137,061	技術管理部 室宮	CO2原単位目標の4.0064に対して実績3.9057で目標達成	○
		CO2原単位（ｋｇ-CO2/万円）		3.9057			
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減		①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底 ②廃棄物の分別管理の徹底（再資源化しやすくする。）	技術管理部 室宮	①②の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
		産業廃棄物排出量の削減（有価物は除く）		①パイプ・アングル材の寸法カット注文 ②廃棄物の分別管理の徹底 ③端材材料を優先してネスティングに使用 ④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文	製造管理部 小山	①～④の項目を実行しました	目標達成手段を実施しましたが目標は達成に至らず ×
3	水使用量の削減			①水漏れ箇所の点検(1週間1回)	技術管理部 室宮	①の項目について実行しました	目標達成手段を実施しましたが目標は達成に至らず ×
4	化学物質の適正管理			①適正維持の徹底（消防法に則った保管管理） ②新規の購入はしない ③期末に保管量・使用量を把握する	技術管理部 室宮	①～③の項目を実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
5	M社の不良率の削減			①丁寧なつぶし込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	総合管理部 蓬生	①～③までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○

7-2.a　環境経営計画に基づき実施した取組内容
7-2.b　環境経営計画の取組結果とその評価　　（群馬工場）

Ｎｏ	環境経営方針項目	環境経営目標項目		目標達成手段	責任部門責任者	実施した取組内容	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減		①設備メンテナンス(2Dレーザー・ベンダー) ②フィルターの清掃（1/月） ③不要照明の消灯 ④エアー漏れをなくす ⑤窒素加工用ブ-スタ-の待機時間を削減する	群馬工場長 飯野	①～⑤でまでの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
		化石燃料使用量の削減	ガソリン	①エコドライブの実践（車内に掲示） ②移動を集約し消費量を削減に努める ③フォークリフト・トラック→メンテナンス	群馬工場長 飯野	①～③でまでの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
			軽油	①エコドライブの実践（車内に掲示） ②移動を集約し消費量を削減に努める ③フォークリフト・トラック→メンテナンス	群馬工場長 飯野	①～③でまでの項目について実行しました	目標達成手段を実施しほぼ目標を達成 △
			ＬＰＧ	①夏場の湯沸かし器の使用を控える ②温度設定を低くする	群馬工場長 飯野	①②の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
			灯油	①灯油ストーブは使用しない(エアコンの使用)	群馬工場長 飯野	①の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
		CO_2総量計〔灯油含む〕（kg-CO2）		79393.25	群馬工場長 飯野	CO2原単位目標の3.7247に対して実績3.4632で目標達成	○
		CO_2原単位（ｋｇ-CO_2/万円）		3.4632			
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減		①コピ－用紙の裏面の積極的な利用 ②資源ごみの分別の徹底（再資源化しやすくする）	群馬工場長 飯野	①②でまでの項目について実行しました	目標達成手段を実施しましたが目標は達成に至らず ×
		産業廃棄物排出量の削減（有価物は除く）		①廃棄物の分別管理の徹底 ②端材材料分別の徹底	群馬工場長 飯野	①②でまでの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
3	水使用量の削減			①節水の意識を高める	群馬工場長 飯野	①の項目について実行しました	目標達成手段を実施しましたが目標は達成に至らず ×
4	化学物質の適正管理			①ケミーライトは購入しない	群馬工場長 飯野	ケミーライトは購入してません	○
5	M社の不良率の削減			①丁寧なつぶし込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	総合管理部 蓬生 （本社大和工場）	①～③までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○

7-3.a　環境経営計画に基づき実施した取組内容
7-3.b　環境経営計画の取組結果とその評価　　（全工場）

Ｎｏ	環境経営方針項目	環境経営目標項目		目標達成手段	責任部門責任者	実施した取組内容	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減		①時間外申請シートの活用（効率的な作業） ②2Dレーザー加工機・コンプレッサー→メンテナンス ③不要照明の消灯 ④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告（現状の把握） ⑤エアー漏れをなくす ⑥2Dレーザー加工機の電源は使用時のみ立ち上げる ⑦フィルターの清掃（1/月） ⑧窒素加工用ブ-スタ-の待機時間を削減する ⑨空気圧縮機の吐出圧を現状から下げて運用 ⑩本社大和工場の2Dレーザー加工機の撤去	技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	①～⑩までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
		化石燃料使用量の削減	ガソリン	①エコドライブの実践（車内に掲示） ②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告（現状の把握） ③フォークリフト・トラック→メンテナンス ④移動を集約し消費量削減に努める	技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	①～④までの項目について実行しました	目標達成手段を実施しほぼ目標を達成 △
			軽油	①スケジュール運行（2ヶ月間のスケジュール表を作成） ②エコドライブの実践（車内に掲示） ③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告（現状の把握） ④フォークリフト・トラック→メンテナンス ⑤移動を集約し消費量を削減に努める	技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	①～⑤までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
			ＬＰＧ	①湯沸かし器の点検（1F） ②夏場の湯沸かし器の使用を控える ③温度設定を低くする	技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	①～③までの項目について実行しました	目標達成手段を実施しほぼ目標を達成 △
			灯油	①灯油は購入しません(使用しません)　本社大和工場 ②灯油ストーブは使用しない(エアコン使用)　群馬工場	技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	①②の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
		CO_2総量計〔灯油含む〕（kg-CO2）		216455.38	技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	CO2原単位目標の3.908に対して実績3.7.08で目標達成	○
		CO2原単位（ｋｇ-CO2/万円）		3.7308			
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減		①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底 ②廃棄物の分別管理の徹底（再資源化しやすくする。） ③コピ－用紙の裏面の積極的な利用 ④資源ごみの分別の徹底	技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	①～④までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
		産業廃棄物排出量の削減（有価物は除く）		①パイプ・アングル材の寸法カット注文 ②廃棄物の分別管理の徹底 ③端材材料分別の徹底 ④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文 ⑤端材材料を優先してネスティングに使用	製造管理部 小山 群馬工場長 飯野	①～⑤でまでの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
3	水使用量の削減			①節水の意識を高める ②水漏れ箇所の点検	営業技術部 室宮 群馬工場長 飯野	①②の項目について実行しました	目標達成手段を実施しましたが目標は達成に至らず ×
4	化学物質の適正管理			①適正維持の徹底（消防法に則った保管管理） ②新規の購入はしない ③期末に保管量・使用量を把握する ④ケミーライトは購入しない	製造管理部 小山 群馬工場長 飯野	①～④までの項目について実行しました	○
5	M社の不良率の削減			①丁寧なつぶし込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	総合管理部 蓬生	①～③までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○

2025年度　　次年度の環境経営目標と環境経営計画（本社大和工場）

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	環境経営目標	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール 2025年6月～2026年5月
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位 2.9390 kg-CO2/万円	①時間外申請シートの活用（効率的な作業） ②不要照明の消灯 ③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告（現状の把握）	技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
		化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位 0.2244 kg-CO2/万円	ガソリン ①エコドライブの実践（車内に掲示） ②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告（現状の把握）	技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
			軽油原単位 0.6965 kg-CO2/万円	軽油 ①スケジュール運行（2ヶ月間のスケジュール表を作成） ②エコドライブの実践（車内に掲示） ③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告（現状の把握）	技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
			LPG原単位 0.00663 kg-CO2/万円	LPG ①湯沸かし器の点検（1F） ②夏場の湯沸かし器の使用を控える	技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
			灯油原単位 0 kg-CO2/万円	灯油 ①灯油は購入しません(使用しません)	技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
		CO2原単位 （ｋｇ-CO2/万円）	3.8665 （kg-CO2/万円）		技術管理部 室宮	
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 338.9 Kg	①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底 ②廃棄物の分別管理の徹底（再資源化しやすくする。）	技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
		産業廃棄物排出量の削減（有価物は除く）	廃棄物排出量 2,999.0 Kg	①パイプ・アングル材の寸法カット注文 ②廃棄物の分別管理の徹底 ③板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文 ④解体した木材パレットを社員が薪ストーブの薪として持って帰る	製造管理部 小山	（左記達成手段全て）→
3	水使用量の削減		水使用量 262.4 ㎥	①水漏れ箇所の点検(1週間1回)	技術管理部 室宮	（左記達成手段全て）→
4	化学物質の適正管理		化学物質の適正管理	①適正維持の徹底 （消防法に則った保管管理） ②新規の購入はしない ③期末に保管量・使用量を把握する	製造管理部 小山	（左記達成手段全て）→
5	M社の不良率の削減		不良率 0.196 %以下	①丁寧なつぶし込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	総合管理部 蓬生	（左記達成手段全て）→

※二酸化炭素の排出削減は2021年度から原単位を環境経営目標にいたします。

2025年度　　次年度の環境経営目標と環境経営計画（群馬工場）

Ｎｏ	環境経営方針項目	環境経営目標項目	環境経営目標		目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール 2025年6月～2026年5月
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位 2.9875 kg-CO2/万円		①設備メンテナンス(2Dレーザー・ベンダー) ②フィルターの清掃（1/月） ③不要照明の消灯 ④エアー漏れをなくす ⑤窒素加工用ブ-スタ-の待機時間を削減する	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
		化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位 0.2876 kg-CO2/万円	ガソリン	①エコドライブの実践（車内に掲示） ②移動を集約し消費量を削減に努める ③フォークリフト・トラック→メンテナンス	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
			軽油原単位 0.1476 kg-CO2/万円	軽油	①エコドライブの実践（車内に掲示） ②移動を集約し消費量を削減に努める ③フォークリフト・トラック→メンテナンス	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
			LPG原単位 0.00570 kg-CO2/万円	LPG	①夏場の湯沸かし器の使用を控える ②温度設定を低くする	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
			灯油原単位 0 kg-CO2/万円	灯油	①灯油ストーブは使用しない。(エアコンの使用)	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
		CO2原単位（ｋｇ-CO2/万円）	3.4285 (kg-CO2/万円)			群馬工場長 飯野	
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 1,234.6 Kg		①コピー用紙の裏面の積極的な利用 ②資源ごみの分別の徹底（再資源化しやすくする）	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
		産業廃棄物排出量の削減（有価物は除く）	廃棄物排出量 13,874.1 Kg		①廃棄物の分別管理の徹底 ②端材材料分別の徹底 ③木材パレットを本社大和工場に送る（薪ストーブの薪）	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
3	水使用量の削減		水使用量 109.89 ㎥		①節水の意識を高める	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
4	化学物質の適正管理		化学物質の適正管理		①ケミーライトは購入しない	群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）→
5	M社の不良率の削減		不良率 0.196 %以下		①丁寧なつぶし込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	総合管理部 蓬生	（左記達成手段全て）→

※二酸化炭素の排出削減は2021年度から原単位を環境経営目標にいたします。

2025年度　　次年度の環境経営目標と環境経営計画（全工場）

Ｎｏ	環境経営方針項目	環境経営目標項目	環境経営目標	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール 2025年6月～2026年5月
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位 2.9582 kg-CO2/万円	①時間外申請シートの活用（効率的な作業） ②2Dレーザー加工機・ベンダー→メンテナンス ③不要照明の消灯 ④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告（現状の把握） ⑤エアー漏れをなくす ⑥フィルターの清掃（1/月） ⑦窒素加工用ブ-スタ-の待機時間を削減する	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）
		化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位 0.2494 kg-CO2/万円	ガソリン ①エコドライブの実践（車内に掲示） ②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告（現状の把握） ③フォークリフト・トラック→メンテナンス ④移動を集約し消費量削減に努める	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）
			軽油原単位 0.4797 kg-CO2/万円	軽油 ①スケジュール運行（2ヶ月間のスケジュール表を作成） ②エコドライブの実践（車内に掲示） ③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告（現状の把握） ④フォークリフト・トラック→メンテナンス ⑤移動を集約し消費量を削減に努める	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）
			LPG原単位 0.00634 kg-CO2/万円	LPG ①湯沸かし器の点検（1F） ②夏場の湯沸かし器の使用を控える ③温度設定を低くする	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場長　飯野	（左記達成手段全て）
			灯油原単位 0 kg-CO2/万円	灯油 ①灯油は購入しません(使用しません)　本社大和工場 ②灯油ストーブは使用しない。(エアコンの使用) 群馬工場	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）
		CO2原単位（ｋｇ-CO2/万円）	3.6940 (kg-CO2)		本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 1,574.0 Kg	①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底 ②廃棄物の分別管理の徹底（再資源化しやすくする。） ③コピ－用紙の裏面の積極的な利用 ④資源ごみの分別の徹底	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）
		産業廃棄物排出量の削減（有価物は除く）	廃棄物排出量 16,935.0 Kg	①パイプ・アングル材の寸法カット注文 ②廃棄物の分別管理の徹底 ③端材材料分別の徹底 ④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文 ⑤解体した木材パレットを社員が薪ストーブの薪として持って帰る	本社大和工場製造管理部 小山 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）
3	水使用量の削減		水使用量 372.2 ㎥	①節水の意識を高める ②水漏れ箇所の点検	本社大和工場技術管理部 群馬工場長　飯野	（左記達成手段全て）
4	化学物質の適正管理		化学物質の適正管理	①適正維持の徹底 （消防法に則った保管管理） ②新規の購入はしない ③期末に保管量・使用量を把握する ④ケミーライトは購入しない	本社大和工場製造管理部 小山 群馬工場長 飯野	（左記達成手段全て）
5	M社の不良率の削減		不良率 0.196 %以下	①丁寧なつぶし込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	本社大和工場総合管理部 蓮生	（左記達成手段全て）

※二酸化炭素の排出削減は2021年度から原単位を環境経営目標にいたします。

９.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反,訴訟等の有無

区分	環境関連法規等名称	遵守状況の確認・評価	
		チェック日	結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）（一般廃棄物の処理）	2025.10.06	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）（産業廃棄物の処理）	2025.10.06	○
資源循環(リサイクル)	特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	2025.10.06	○
	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法）	2025.10.06	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	2025.10.06	○
	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラスチック資源循環促進法)	2025.10.06	○
騒音・振動	騒音規制法	2025.10.06	○
	振動規制法	2025.10.06	○
	神奈川県生活環境の保全等に関する条例 32条	2025.10.06	○
	群馬県の生活環境を保全する条例 63条,64条	2025.10.06	○
	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律（本社工場のみ対象）	2025.10.06	○
大気汚染	フロン排出抑制法	2025.10.06	○
	自動車Nｏｘ・PM法(排ガス抑制法)	2025.10.06	○
	神奈川県生活環境の保全等に関する条例 94条	2025.10.06	○
水質汚濁	浄化槽法（群馬工場のみ対象）	2025.10.06	○
労働者の安全と健康の確保	労働安全衛生法	2025.10.06	○
	特定化学物質障害予防法	2025.10.06	○

当社に関係する環境関連法規等は上記の通りです。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。なお、外部からの苦情は活動期間中にはありませんでした。

10.　代表者による全体の評価と見直し
結果報告書

見直し実施日	2025年9月12日　（　■定期見直し　□臨時見直し　）	
見直し対象期間	2024年　6月　1日　～　2025年　5月　31日	
出　席　者	専務(環境管理責任者)・小山課長・飯野課長・ 和田課長・深谷課長・佐々木主任・室宮	場所：両工場モニター画面前〔Web会議〕
前回の見直し記録より指示への取組結果	2024年度は2023年度を評価の基準として臨みました。二酸化炭素排出原単位を評価の基準にして(二酸化炭素排出量は指標)、１%を評価目標に掲げました。全社の二酸化炭素排出原単位項目の電力原単位・軽油原単位・LPG原単位・灯油原単位に関しましては4.5%の削減で目標を達成しました。廃棄物排出量は2018～2023年度の平均を基準としまして、目標を達成仕手います。水使用量は7.5%の増加と目標を達成することができませんでした。電気使用量に関しましては、2025年2月に本社大和工場の2Dレーザー加工機を撤去し、そのスペースを在庫品置場にしまして新たに2Dレーザー加工機は購入しませんでした。	
見直しに必要な情報	①2024年度　環境経営目標の実績〔全社・本社大和工場・群馬工場〕 ②2024年度　環境経営目標及び環境経営計画書(兼 実績・評価表)〔全社・本社大和工場・群馬工場〕 ③2025年度　環境経営経営目標設定表〔全社・本社大和工場・群馬工場〕 ④2025年度　環境経営計画〔全社・本社大和工場・群馬工場〕 ⑤2018～2024年度までの環境への負荷の状況(取りまとめ表)〔全社・本社大和工場・群馬工場〕	

代表者による評価

経営的観点

【環境経営システムが有効に機能しているか】（①～⑤を踏まえて評価）

《重点課題：CO2排出量の削減》2023年度の二酸化炭素排出原単位（3.947kg-CO2/万円）に対し2024年度の実績二酸化炭素排出原単位3.7308kg-CO2/万円で約4.5%の削減。売上げは2023年度（54185万円）に対して2024年度（58018万円）は約7%の増加となり、二酸化炭素排出量は約1%増加しています。環境経営方針の重点課題のCO2排出量の削減が目標を達成していませんが、環境経営システムは売上げに対して原単位は有効に機能しています。

【環境経営への取組が適切に実施されているか】（②を踏まえて評価）

目標項目	目標達成状況	経営計画実施状況	目標・経営計画実施状況の評価（達成の場合：目標設定方法や取組方法の問題点、次年度の方向性　未達の場合：原因の明確化、次年度の目標や対応策）
二酸化炭素排出の削減	○	○	《重点課題：CO2排出量の削減》2023年度の二酸化炭素排出原単位（3.947kg-CO2/万円）に対し2024年度の実績二酸化炭素排出原単位3.7308kg-CO2/万円で約4.5%の削減。売上げは2023年度（54185万円）に対して2024年度（58018万円）は約7%の増加となり、二酸化炭素排出量は約1%増加しています。二酸化炭素の排出の１%は許容範囲と判断いたします。次年度も同一の方向性です。
廃棄物排出量の削減	○	○	一般廃棄物は2018～2023年度の平均1624kgに対して2024年度は1381kgで約14%の削減、産業廃棄物は2018～2023年の19194kgに対して45800kgで約76%の削減。大量な廃棄物が2023年度はなかったので削減率が大きくなった。問題点は特にないので次年度も同一の方向性です。
水使用量の削減	×	○	2023年度の353㎥の基準に対して2024年度は353㎥で約7.6%の使用量の増加。上水道、下水同、浄化槽に関するトラブルはありません。次年度も同一の方向性です。
化学物質使用量の削減	○	○	2021年度に本社大和工場はリサイクル洗浄シンナーを購入しました。購入しましたが栓を開けません。一度も使用してませんので期初保管量と期末保管量は同一値です。群馬工場はケミーライトは購入していません。使用もしてません。方向性に変更はありません。
M社の不良率の削減	○	○	2023年度の年間不良率0.39%に対して2024年度の年間不良率は0.198%で約49%の削減。次年度も同一の方向性です。

代表者による見直し

変更の必要性の有無・変更に必要な具体的指示事項

【環境経営方針】　変更の必要性　：　□有　■無

現在の環境経営方針を維持する。

【環境経営目標及び環境経営計画】　変更の必要性　：　■有　□無

環境経営目標は基準値を2024年度（一般廃棄物・産業廃棄物を除く)とし、基準値に対して1%の削減で臨みます。廃棄物排出量の削減は2018～2024年度の平均の1%の削減で望みます。

【実施体制】　変更の必要性　：　□有　■無

現在の実施体制を維持します。

【環境経営システム】　変更の必要性　：　□有　■無

現在の環境経営システムを維持する。

【総　　括】　(環境活動レポートに転記)

本社大和工場の2Dレーザー加工機を2024年2月に撤去しまして、新たに本社大和工場には2Dレーザー加工機を購入していません。2025年度の電気使用量がどのような変化をするか数値を確認いたします。全従業員に対する環境経営教育は『化学物質の水銀』につきまして学習しました。化学物質が人体、環境に与える影響を学習しました。

注記　①定期的（少なくとも毎年1回）に実施すること。登録審査の場合は、臨時に行うこと。
②事業年度が終了したら、速やかに終了事業年度（登録審査の場合は登録の運用期間）の見直しをすること。
③事業内容の変更や重大な事故・不適合が生じた場合等の時は、臨時の見直しをすること。